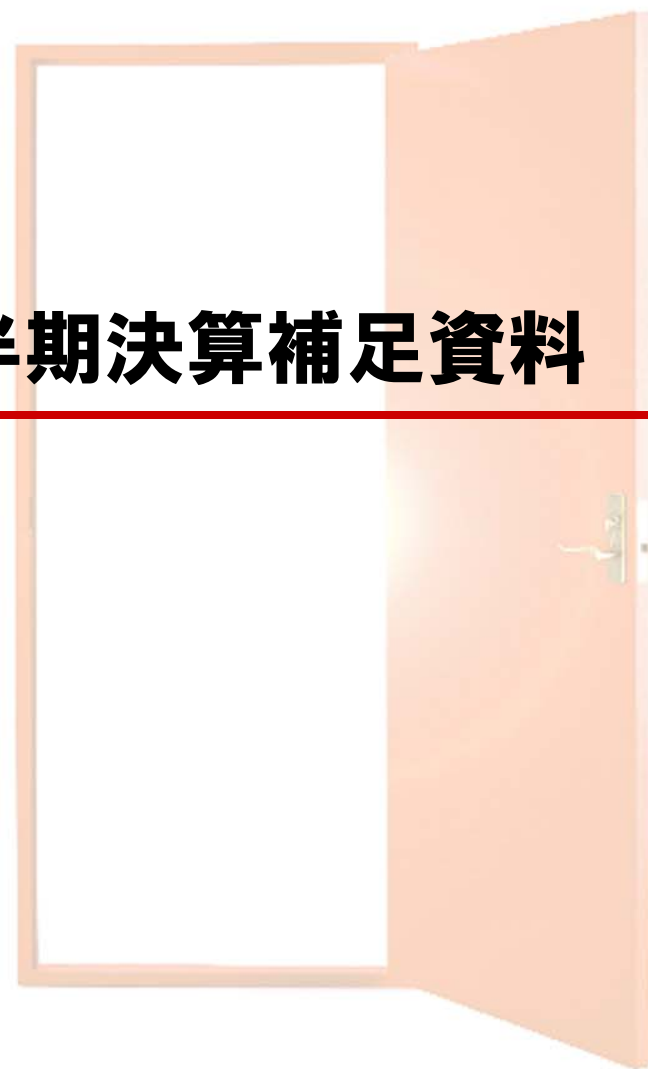


平成28年8月期(52期) 第3四半期決算補足資料

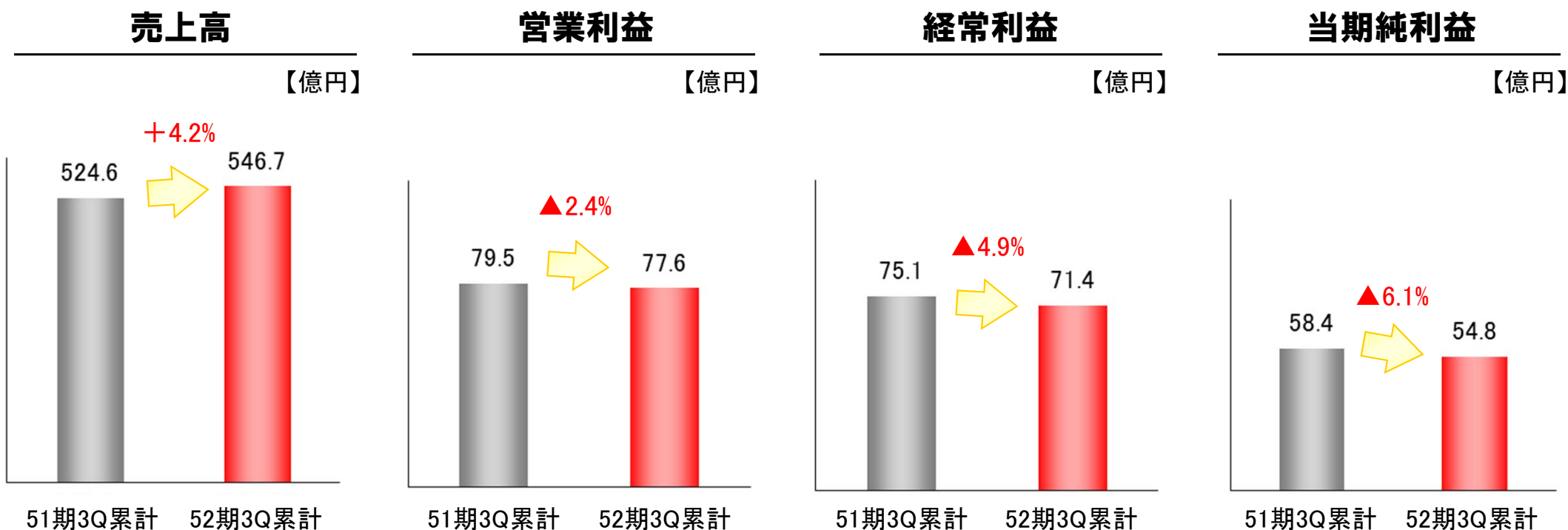
平成28年6月30日



1. 業績関連	...	P2
2. 財務／経営指標関連	...	P7
3. 事業関連	...	P12
4. 第3四半期TOPICS	...	P15
5. 免責事項	...	P17

|| 業績関連 || 52期第3四半期連結業績(累計/前期対比)

- ・ 売上高は、第2四半期に続き各事業が堅調に推移し前年同期比で増収。
- ・ 営業利益は各事業の堅調な推移も将来施策等の費用投下により減益。経常利益および当期純利益はリファイナンスを含む財務・資本施策関連コストが発生したことにより減益。

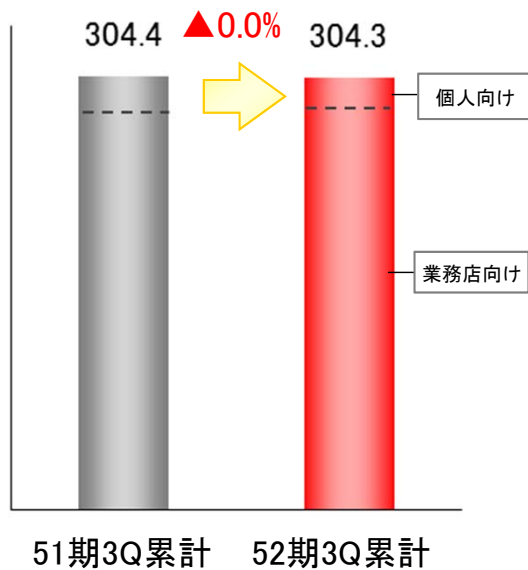


※ 実績値は端数切捨て、パーセンテージは小数点第2位以下を四捨五入

セグメント別 売上高

音楽配信事業

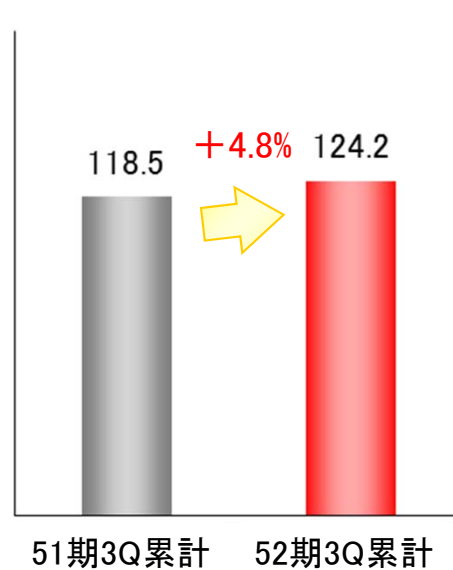
【億円】



業務店向けの増収が、個人向けの減収を若干下回り微減収

業務用システム事業

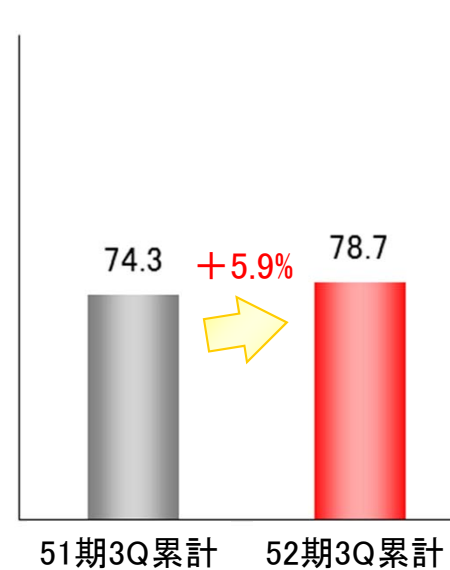
【億円】



病院/ホテル向けの納品増加により増収

ICT事業

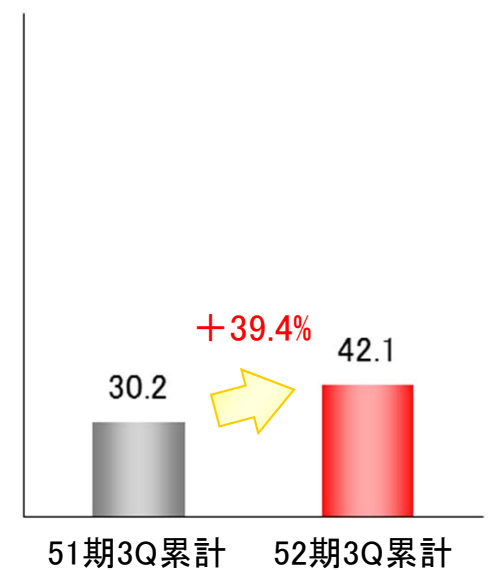
【億円】



サービス提供件数増加により増収

その他

【億円】



集客支援事業の拡大により増収

(参考) 業務店向け/個人向けの内訳は当社管理上の指標となります

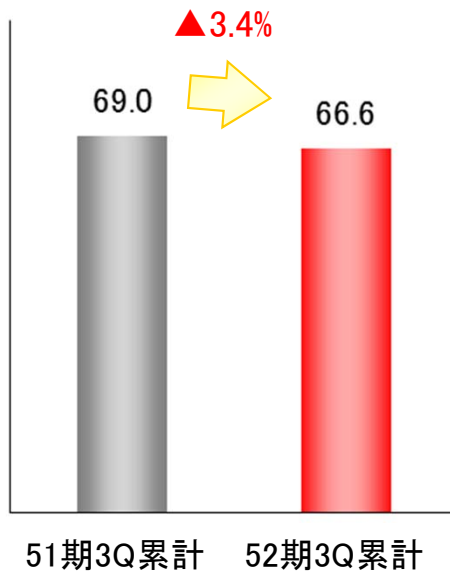
※ 51期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲2.8億円の調整を行っております

※ 52期セグメント売上高はセグメント間取引消去等により、連結売上高と▲2.7億円の調整を行っております

セグメント別 営業利益

音楽配信事業

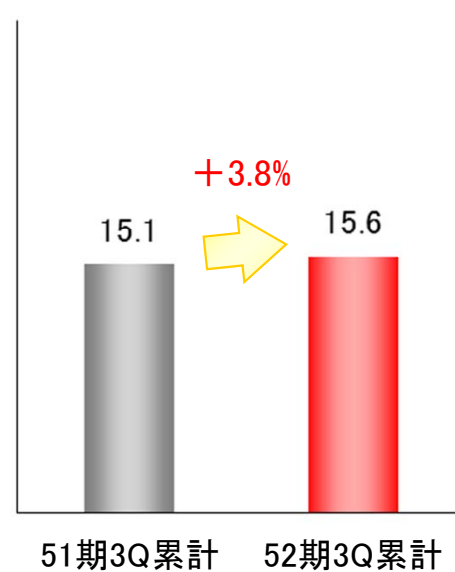
【億円】



将来施策を含む
費用投下により減益

業務用システム事業

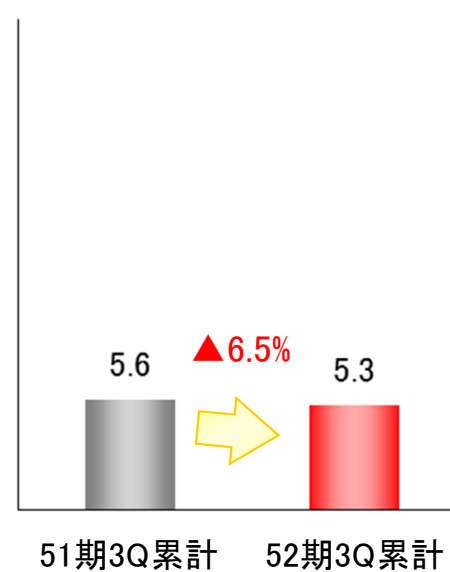
【億円】



納品増加による堅調な
推移により増益

ICT事業

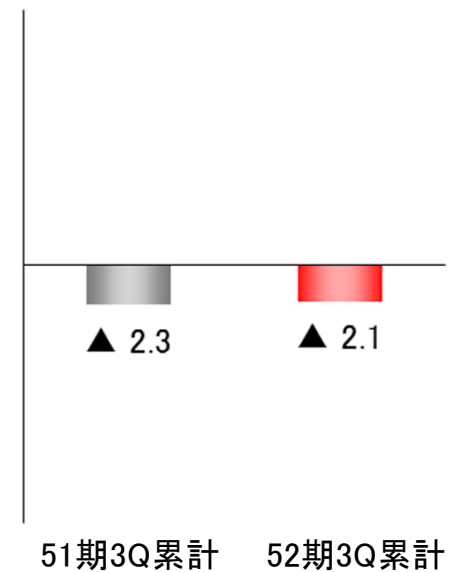
【億円】



前期比同水準で推移

その他

【億円】



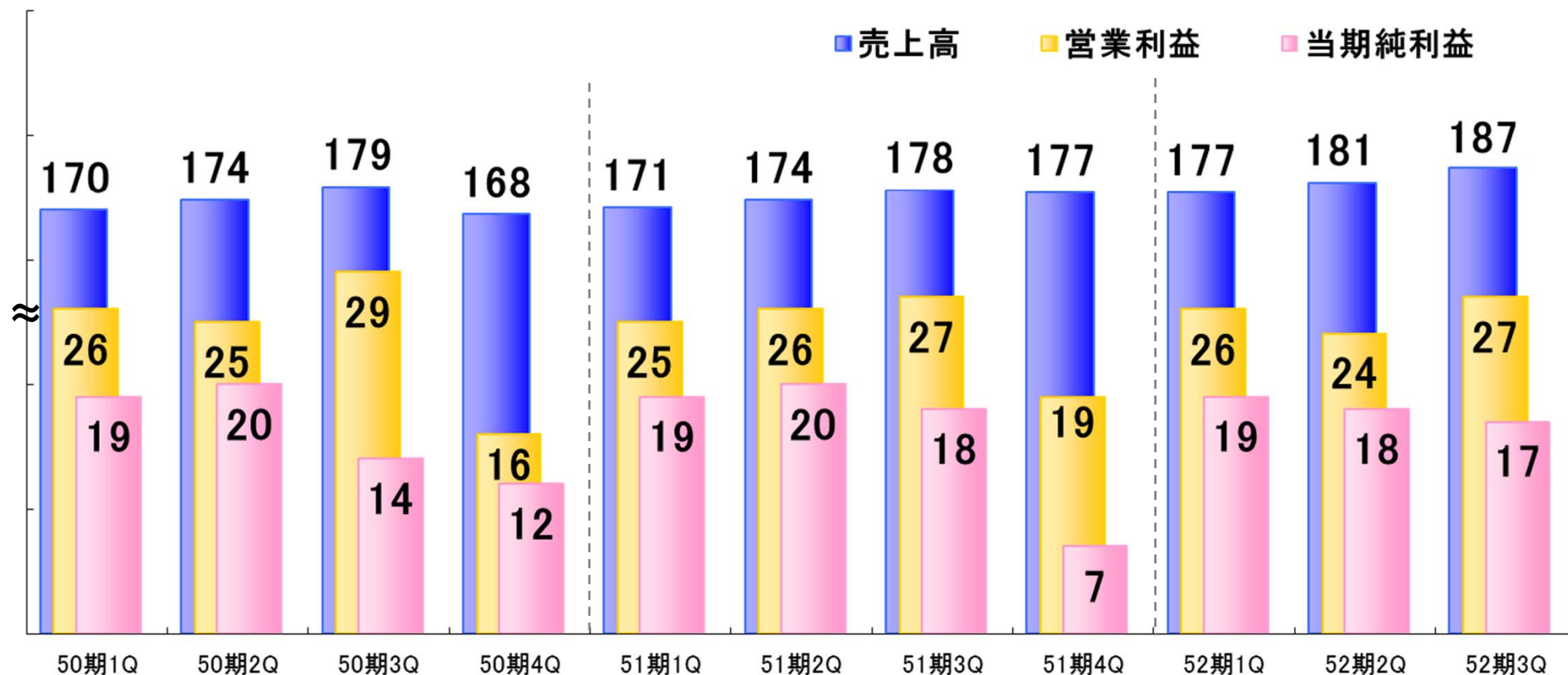
前期比同水準で推移

※ 51期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲7.9億円の調整を行っております

※ 52期セグメント営業利益はセグメント間取引消去等により、連結営業利益と▲7.8億円の調整を行っております

業績関連 連結経営成績推移

【億円】



当四半期売上高は直近3期で最高値を達成、
当四半期営業利益、当期純利益は将来施策を含む
費用計上でやや弱含みも安定的に利益を創出

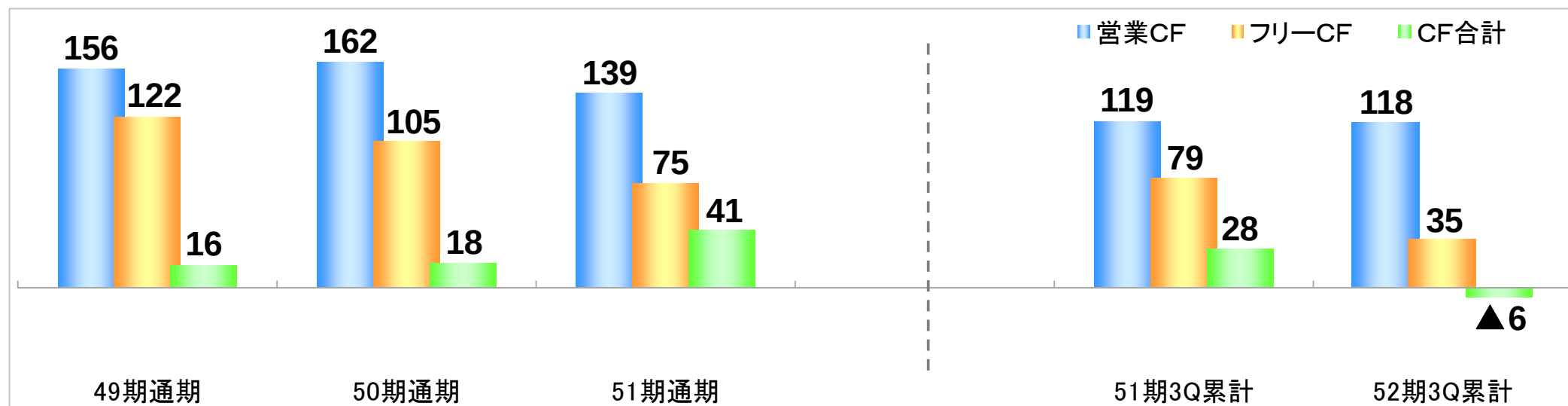
※ 各数値は端数切捨て

|| 業績関連 || 業績予想に対する進捗率

	【億円】	通期予想 (A)	3Q累計実績 (B)	進捗率 (B÷A)
売上高		720.0	546.7	75.9%
営業利益		96.0	77.6	80.9%
経常利益		87.0	71.4	82.1%
当期純利益		66.0	54.8	83.2%

売上高は予想通りに進捗、
各段階利益は予想を上回って推移

【億円】



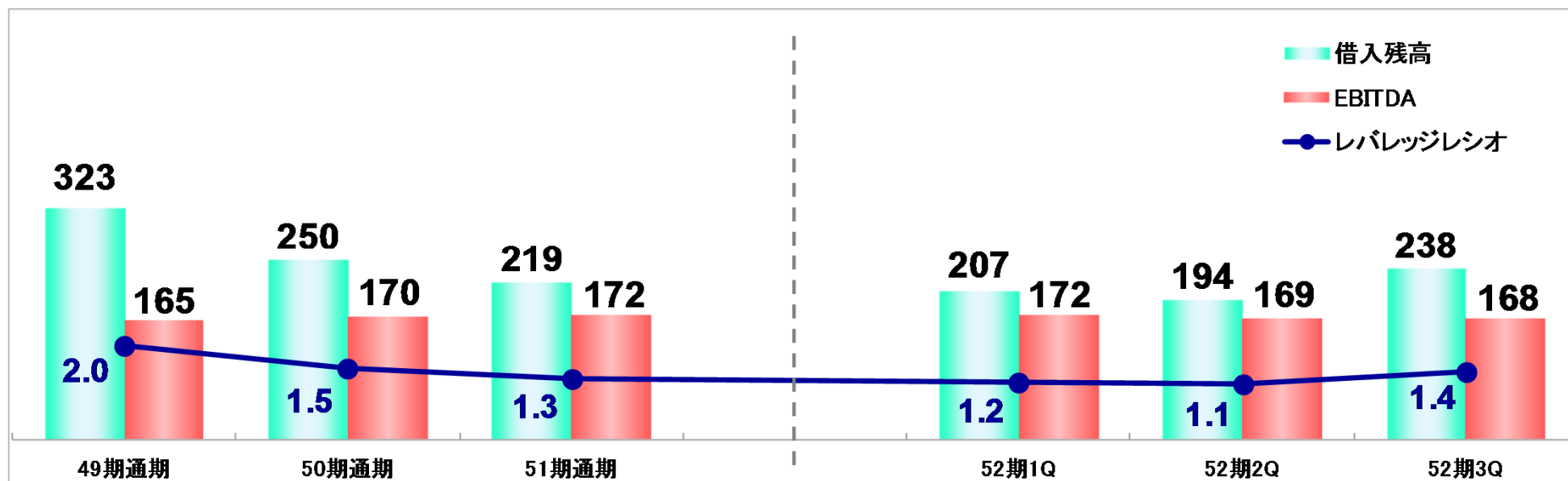
※フリーCF＝営業CF＋投資CF、CF合計＝フリーCF＋財務CF

<営業CF>	156	162	139	119	118
<投資CF>	▲33	▲56	▲63	▲40	▲83
<財務CF>	▲105	▲86	▲33	▲50	▲41

営業CFは前四半期比ほぼ横ばいも、
第1四半期におけるキャンシステム社に対する貸付実行により投資CF支出が増加、
CF合計は前年同期比34億円の減少

|| 財務／経営指標関連 || レバレッジレシオ

【億円、倍】



※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費

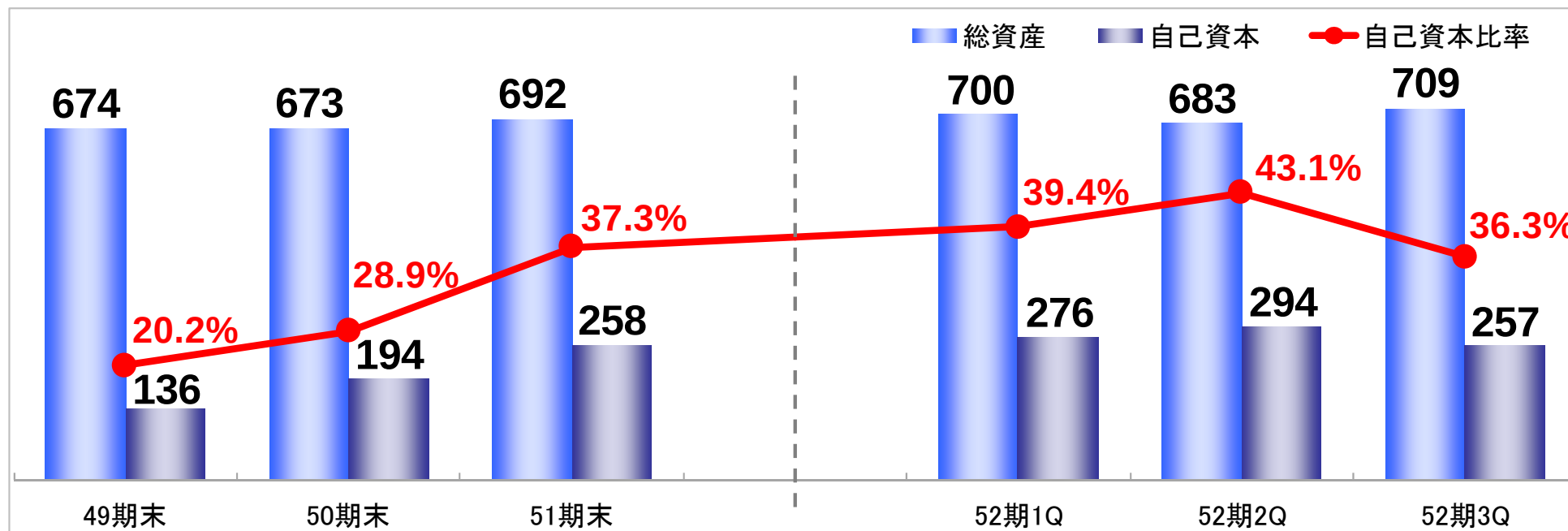
※EBITDAは直近12ヶ月ベースで算出

※レバレッジレシオ = 借入残高 ÷ 直近12ヶ月ベースEBITDA

EBITDAは安定的に推移、
リファイナンス実施により借入残高が増加したためレバレッジレシオは1.4倍に微増

財務／経営指標関連 自己資本比率

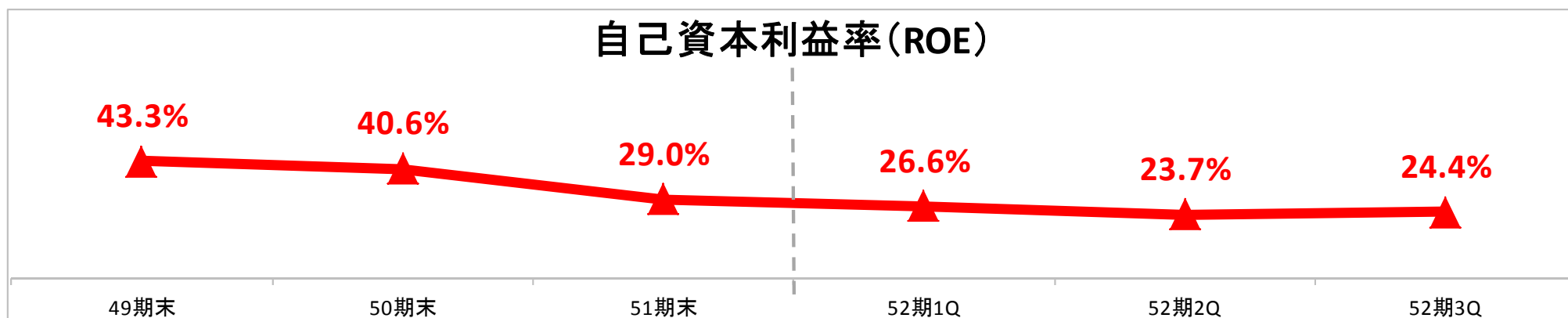
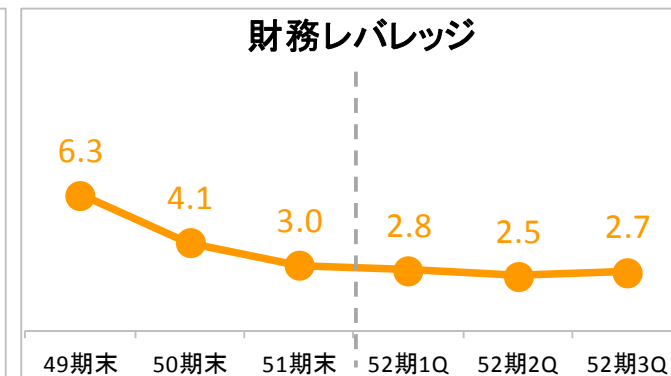
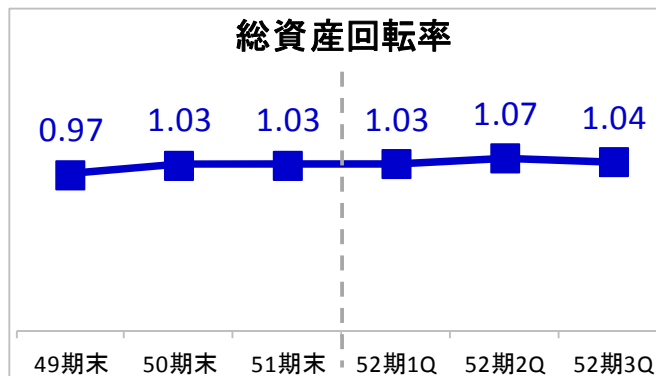
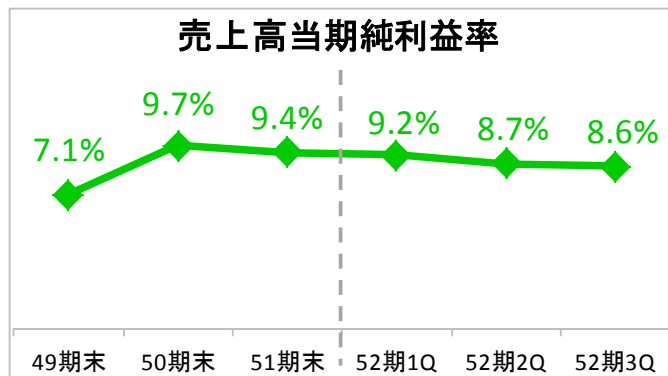
【億円、％】



※自己資本 = 純資産 - 新株予約権

音楽配信事業の聴取料前受による現預金の増加等により総資産は増加、
3月末に実施した第2種優先株式の消却により自己資本が減少したため、
自己資本比率は36.3%に

|| 財務／経営指標関連 || 自己資本利益率(ROE)



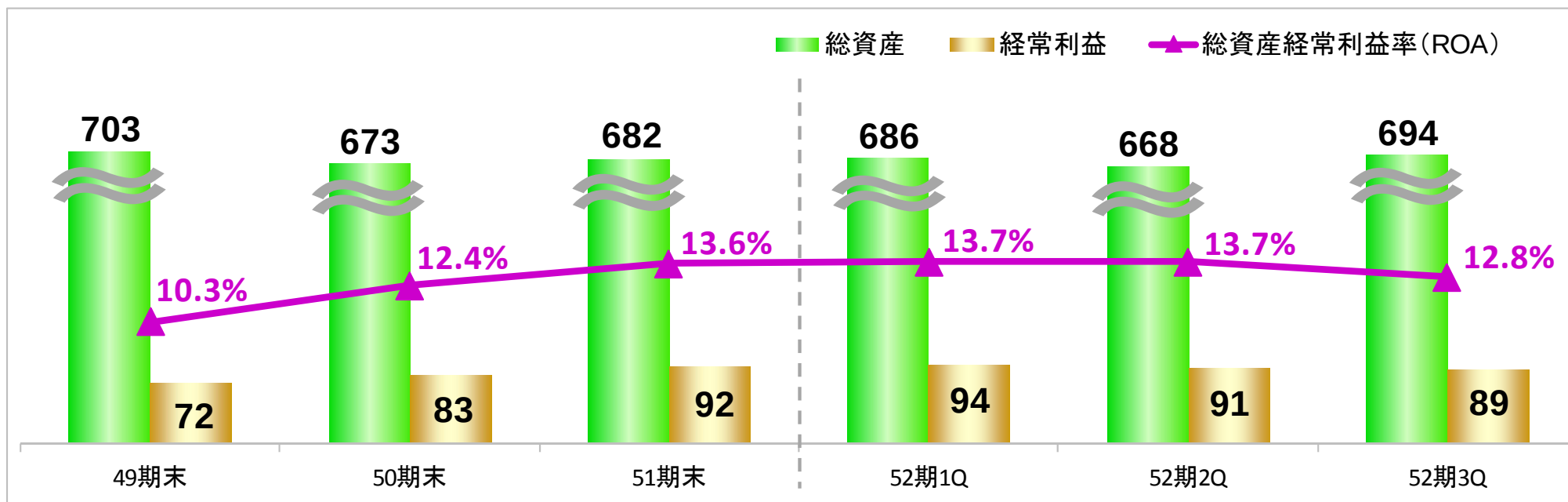
※自己資本利益率(ROE) = 売上高当期純利益率 × 総資産回転率 × 財務レバレッジ

※52期3Qの売上高及び当期純利益は直近12ヶ月ベース、総資産及び自己資本は51期3Qと52期3Qの平均値

売上高当期純利益率は前四半期比微減も、第2種優先株式の取得・消却及び
リファイナンスを実施したことで財務レバレッジが微増した結果、ROEも微増

財務／経営指標関連 総資産経常利益率(ROA)

【億円、％】



※総資産経常利益率(ROA) = 経常利益／総資産 × 100

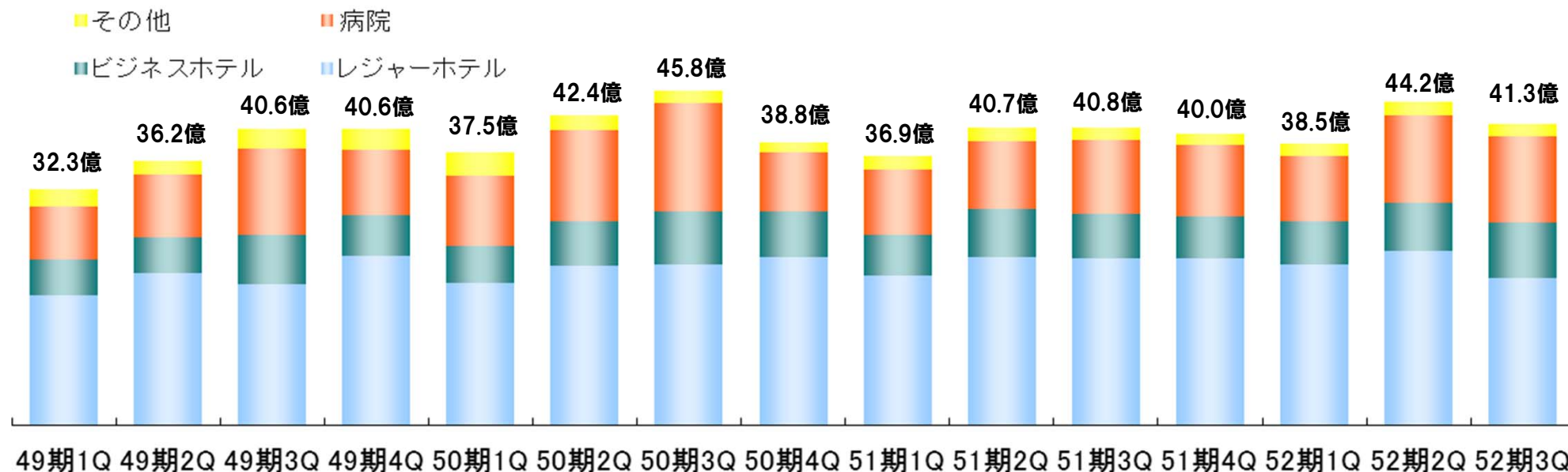
※52期3Qの経常利益は直近12ヶ月ベース

※52期3Qの期中平均総資産は51期3Qと52期3Qの平均値

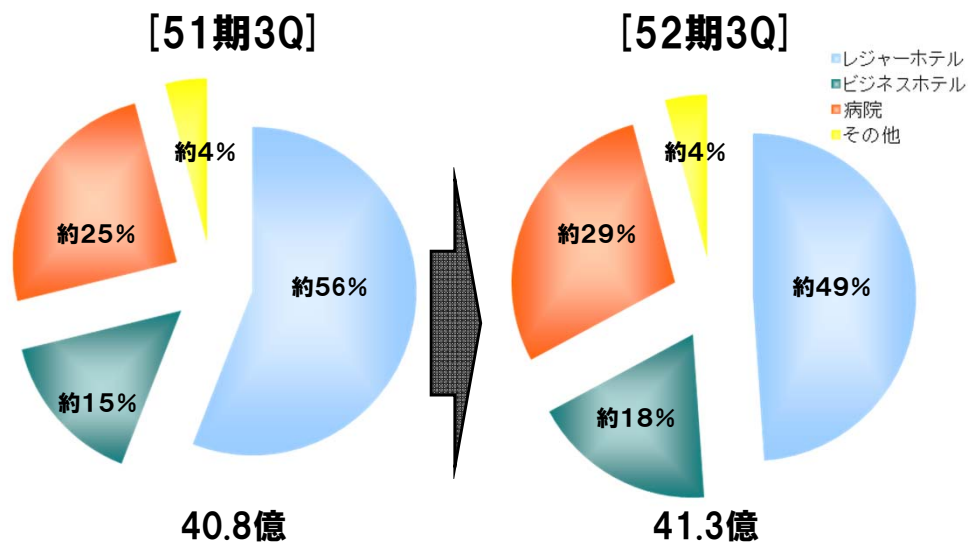
聴取料前受に伴う現預金等の増加により期中平均総資産は増加、
経常利益が前四半期比微減したため、ROAは12.8%に

事業関連(業務用システム事業) 売上ポートフォリオ

四半期推移



前年同期比



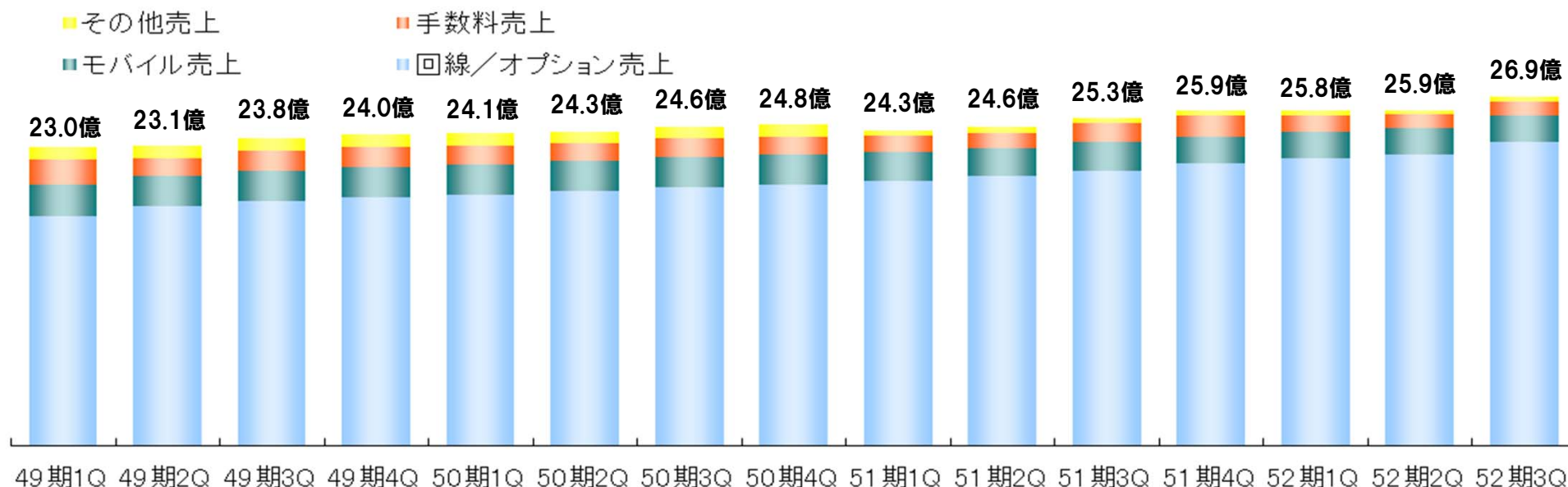
売上は前年同期比から伸長

- 病院/ビジネスホテルでの拡大により、前年同期比では約0.5億円の増収
- 訪日外国人向けレジャーホテル紹介ポータルサイト『Loveinn Japan』を4月にリリース
レジャーホテルを訪日外国人の宿泊需要の受け皿に



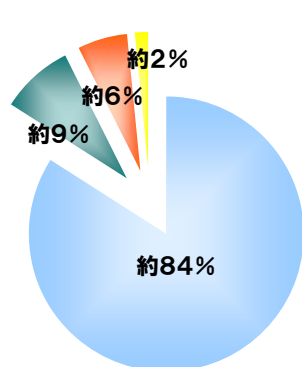
事業関連(ICT事業) 売上ポートフォリオ

四半期推移



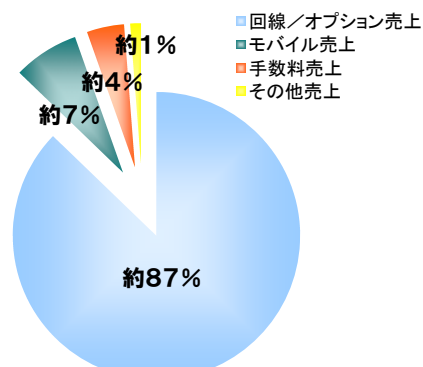
前年同期比

[51期3Q]



25.3億

[52期3Q]



26.9億

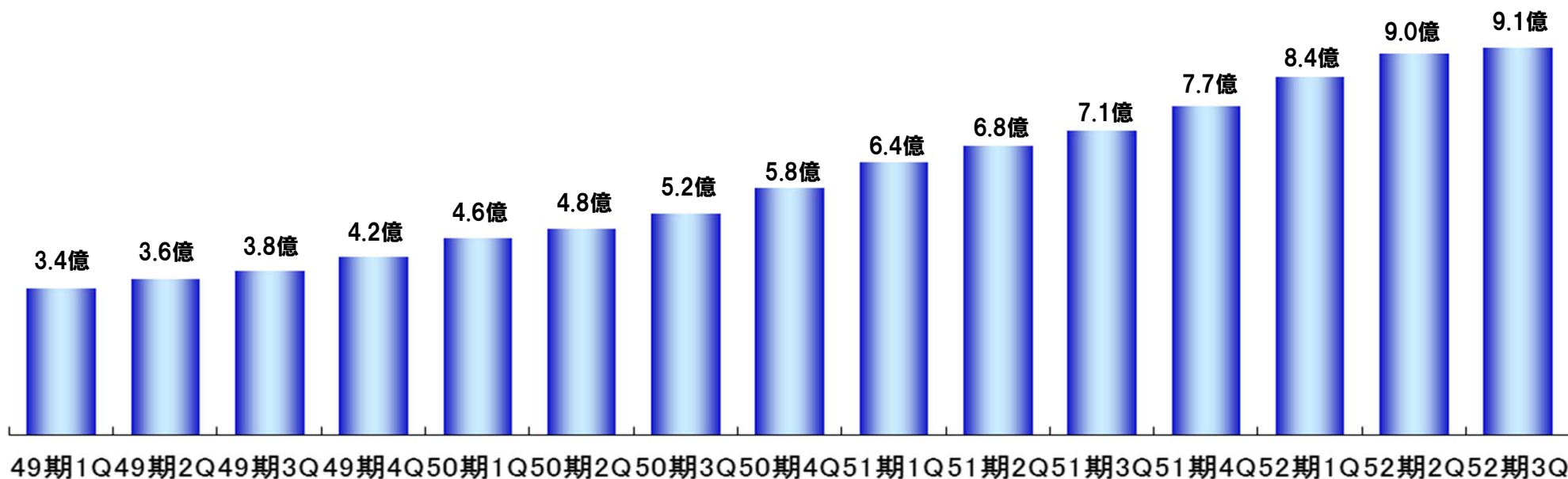
前四半期比/前年同期比で大幅な増収達成

- 主力の回線/オプションサービスが増収基調を維持して事業全体の売上拡大を牽引
- ICTソリューションサービスのブランド名を『USEN GATE02』に変更
今後も様々なサービス/ソリューションの拡大を行っていく



|| 事業関連(その他事業) || 集客支援事業 売上推移

■四半期推移



○売上は四半期ベースで過去最高を更新

- 自社運営グルメサイトであるヒトサラや付随サービスの販売が引き続き堅調に推移
- ヘアスタイリスト検索サイト「bangs(バンクス)」を”美容師探しのWEBマガジン”としてリニューアル
- ブライダルサロン「Tokyo Wedding Collection Bridal Salon GINZA」が 移転・リニューアルオープン

スタイリスト探しのWEBマガジン



Ⅱ 第3四半期TOPICS Ⅱ インバウンド事業関連

【再掲】

訪日外国人女性向け宿泊施設OPEN

- ✓ 渋谷駅徒歩約10分の好立地。女性客限定のカプセルホテル
- ✓ 当社の集客支援/業務支援/環境構築商材のアンテナショップとしても活用
- ✓ 併設の日本酒居酒屋『OISHI KOMACHI SHINSEN』は数多くの日本酒を揃える

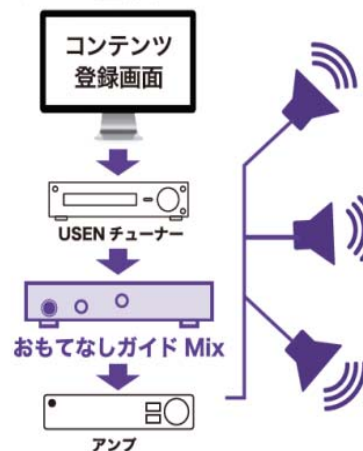
NADESHIKO HOTEL
SHIBUYA



ヤマハ株式会社との「おもてなしガイド」の共同展開や実証実験

- ✓ 店内BGMをスマートフォンに取り込むことで、店舗が発信する情報を多言語に翻訳されたテキスト情報として確認することが可能に
- ✓ 日本語が分からない訪日外国人をサポート
- ✓ ムラサキスポーツでの実証実験をスタート

専用画面で
コンテンツ登録すると・・・



店内放送に反応して
多言語化された文章をスマホに表示！



Ⅱ 第3四半期TOPICS Ⅱ IR関連

▶▶ 発行体格付の変更

－当社が格付を取得している株式会社格付投資情報センター(以下、R&I)が
2016年5月11日付で格付の変更を公表しました。

名称	変更前	変更後
発行体格付	BBB－	BBB
格付の方向性	ポジティブ	安定的

－変更事由等の詳細については、R&Iのプレスリリースをご参照ください。

R&Iウェブサイト：<https://www.r-i.co.jp/>

|| 免責事項 ||

本資料は、信頼できると思われる各種数値に基づいて作成されておりますが、その正確性／完全性を保証するものではありません。

本資料に記載されている、USENの計画／戦略等のうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。実際の業績はさまざまな重要な要素によりこれらの業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知置き下さい。

本資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成しております。本資料に記載されるいかなる情報も、投資勧誘を目的としたものではありません。